

特別活動のイメージ（たたき台）

平成27年12月22日
教育課程部会
特別活動
ワーキンググループ
資料3

【小中高共通の育みたい資質・能力を以下の三つと仮定し整理】

- ◇人間関係を形成する力(個人と個人)
- 社会を形成する力(個人と集団)
- 自己を生かす力(個人)

【高等学校】多様な他者と協働し、集団活動を行うことを通して・・・

- ◇他者の価値観や個性を受け入れ、自己も生かしながら、時・場所・場面に応じた適切なコミュニケーションを図ることができるなど、進んでよりよい人間関係を築くことができる。
- 学校全体や社会の課題を見付け、合意形成を図り、自己の果たすべき役割を考え、主体的に責任ある行動をとることができる。
- 自己の能力や適性、置かれている環境を受け入れて、主体的に日常生活や自己の在り方を改善することができる。
- 多くの情報を収集・整理し、興味・関心、自己の適性の把握などに基づき、将来を見通して主体的に自己の生き方を選択することができる。

【中学校】多様な他者と協働し、集団活動を行うことを通して・・・

- ◇自己や他者の個性を理解し、自他が安心して生活できるよう積極的にコミュニケーションを図るなど、進んでよりよい人間関係を築くことができる。
- 学校や地域の課題について把握し、合意形成を図ってよりよい解決策を決め、実行することができる。
- 自己のよさや個性、置かれている環境を理解し、それを生かしつつ日常生活を改善することができる。
- 情報の収集・整理と、興味・関心、自己の適性の把握などにより、将来を見通して自己の生き方を選択することができる。

【小学校】多様な他者と協働し、集団活動を行うことを通して・・・

- ◇助け合ったり協力し合ったりして、相手を信頼し支え合い、進んでよりよい人間関係を築くことができる。
- 学級・学校生活の問題や課題に気付き、解決方法などを話し合っただけで決め、解決のために自己の役割や責任を果たしてよりよい生活をつくることことができる。
- 自己の課題に気付いて生活を改善したり、自己のよさを生かして活動したりすることができる。

【幼児教育】（教育課程部会幼児教育部会において、本ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化について審議） (自立心)

- ・生活の流れを予測したり、周りの状況を感じたりして、自分でしなければならないことを自覚して行う。
- ・自分のことは自分で言い、自分でできないことは教職員や友達の助けを借りて、自分で行う。
- ・いろいろな活動や遊びにおいて自分の力で最後までやり遂げ、満足感や達成感をもつ。

(協同性)

- ・いろいろな友達と積極的にかかわり、友達の思いや考えなどを感じながら行動する。
- ・相手に分かるように伝えたり、相手の気持ちを察して自分の思いの出し方を考えたり、我慢したり、気持ちを切り替えたりしながら、わかり合う。
- ・クラスの様々な仲間とかかわりを通じて互いのよさをわかり合い、楽しみながら一緒に遊びを進めていく。
- ・クラスみんなで共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして、実現に向けて力を発揮しやり遂げる。

↑生活範囲や人間関係の多様性の広がり